

2025 年 7 月 18 日
株式会社みずほフィナンシャルグループ
ソフトバンク株式会社

みずほ FG とソフトバンク、 AGI 時代を見据えた AI 領域における戦略的包括提携契約を締結

株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：木原 正裕、以下「みずほ FG」）とソフトバンク株式会社（代表取締役 社長執行役員 兼 CEO：宮川 潤一、以下「ソフトバンク」）は、来たる AGI（汎用人工知能）時代を見据えた戦略的包括提携契約を 2025 年 7 月 16 日に締結しました。本契約に基づいて、みずほ FG は、ソフトバンクが OpenAI 社と共同開発を進める、個々の企業のシステム・データを統合し企業ごとにカスタマイズされた最先端 AI「Cristal intelligence※」を、金融業界で初めて導入する予定です。

みずほグループ（以下〈みずほ〉）は、お客さま・社会課題を起点に、最先端 AI 技術等を最適に活用することで、「最高の顧客体験」・「オペレーショナルエクセレンス」の実現を目指します。2030 年度までに、2024 年度対比で 3,000 億円程度の効果発現を期待し、以下の取り組みを行います。

- ・ お客さまが、24 時間 365 日、最適なサービスを利用できる体験の実現
 - － AI が膨大な取引データや市場動向等を解析し、法人のお客さまであれば、いつでも、即時に最適な融資や経営アドバイス等を利用可能である体験 等
- ・ 営業活動の生産性 2 倍以上向上
- ・ 低付加価値業務最大 50%削減
- ・ コンタクトセンター関連生産性最大 50%向上 等

具体的な取り組みとして、〈みずほ〉は、法人のお客さまを中心に、24 時間 365 日、AI が膨大な取引データや市場動向等を解析し、即時に最適な融資や経営アドバイス等を利用できるサービスと、心情面の寄り添いを必要としている時や重要な判断が必要な時は、お客さまの希望に応じて金融のプロフェッショナルである担当者に相談できる体制を構築して、新しいユーザー体験の実現を目指します。〈みずほ〉とソフトバンクは、〈みずほ〉が独自に保有するデータやナレッジと、ソフトバンクの最新の AI やデジタル技術、業務プロセス改革に関するノウハウを活用することで、業務の標準化・高度化・自動化の加速による課題解決を推進します。

また、〈みずほ〉は、最先端 AI 技術等を最適に活用した「最高の顧客体験」・「オペレーショナルエクセレンス」の実現を支える人材に対しては、採用、育成、評価、異動プロセスに対する AI 活用により、AI を使いこなす力、創造性、共感力といった、人ならではの付加価値提供力を高めていくことを目指します。

さらに、〈みずほ〉とソフトバンクは、ソフトバンクの子会社である SB Intuitions 株式会社が開発を進める日本語特化型の大規模言語モデル（LLM）「Sarashina」を基盤に、金融に特化した LLM の研究開発を開始します。

〈みずほ〉とソフトバンクは、AGI 時代に向けて、金融業界における「Cristal intelligence」などの最先端 AI 技術の活用を加速し、金融業界へ幅広く展開することでユーザー体験の変革と抜本的な生産性の向上とともに、お客さまおよび社会への一層の貢献を目指していきます。

※：Cristal intelligence とは

個々の企業のシステム、データを安全に統合し、専用にカスタマイズされた企業向け最先端 AI です。過去データや社内動向、最新情報を学習し、長期記憶を備えた AI エージェント同士が連携することで、経営を高度に最適化する革新技術と位置付けています。

以 上